

く り つ ぶ

学校 家庭 地域

学校を変える。教育が変わる。

- **皆さんの声**が原動力!
進む教育改革!!
- **ますます進む!教育改革**
「知・徳・体の基礎・基本の徹底」と
「学校経営改革」を進める取組み
- 全国家庭教育フォーラムin広島
- なるほど教育! おしえて広場Vol.2
- おでかけガイド

平成17(2005)年12月10日発行 広島県教育委員会

学校の“がんばり”を 分かりやすく発信!

【学校評価】

各学校で目標を設定し、どのくらい達成できたか自ら評価して、公表しています。教職員の意識改革や学校教育の質の向上に役立っています。

●平成15年度より県内公立学校全校に導入!

学校と地域・保護者との
コミュニケーション・ツール



学校 ←→ 地域・保護者

(平成16年度学校評価の公表状況)



教育モニターアンケートで寄せられた
県民の皆さんの声です。(抜粋)

【学校評議員】

学校評議員とは、教育に関する識見を有する方の中から校長が推薦し、教育委員会が委嘱した方です。学校では、学校評議員からいただいた意見や助言を学校運営に反映させたり、学校行事に参加していただくことで、地域に開かれた学校づくりを進めています。

(平成17年度学校評議員設置状況)

小学校	582校中 ▶	510校
中学校	251校中 ▶	218校
公立高校	104校中 ▶	103校
盲・ろう・養護学校	▶	全校



皆さんの声 が原動力! 進む教育改革!!

社会に出るための人格形成の
教育を行ってほしい

子どもたちが尊敬できる
先生であってほしい

子どもたちが外で元気に
遊んでいる姿を見ることが
少ないが、体力づくりは
できているの?

指導力向上の研修は必要。
教員が研修で得たものは
実践に役立ててほしい

教育改革の鍵を握るのは、県民の皆さんからのご意見。
寄せられた声が次の施策を生み、また新たなご意見へと
つながっています。学校・教育委員会では、
県民総参加の「教育改革」をめざして、
皆さんの声を反映していく取組みを展開中!
その一部をご紹介します。

もっと開かれた 学校へ!

【ひろしま教育の日(11/1)・
学校へ行こう週間(11/1~7)】

多くの保護者や地域の人々の参加・協力のもと、
全県的に学校を開放して、教育について考えて
いただくスペシャルウィークです。誰でも行くこ
とができる授業参観、おやじの会や地域の人が
参加する文化祭など、各学校でいろいろな行事
が行われました。

参加者も年々増加!

(学校へ行こう週間の取組みにおける参加者数の推移)

年度	H12	H13	H14	H15	H16
来校者数	約25万人	約32万人	約40万人	約41万人	約47万人

平成17年度は集計中ですが、たくさんの方々にご参加いただきました。



皆さんのご意見を 施策に反映!

【教育モニター(教育改革推進懇談会)】

保護者や県民、企業からなる「教育モニター」に、インターネットでアンケートを実施し、結果などをもとに教育改革推進懇談会で意見交換して教育施策に活かしています。教育委員会ホームページには、教育に関する意見交換の場として、誰もが参加できる「意見の広場」も設置しています。

→詳しくはHPをご覧ください
<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/hiroba.html>

◎ **教育モニター** 平成16年度から、教育ニーズや施策の満足度などについてアンケート調査を年3回実施。今年度はモニターを約1,300人に大幅拡大!

◎ **教育改革推進懇談会** 教育委員6人、教育関係者等10人で構成。傍聴もできます。
<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/gikai.htm>



いじめ、不登校の問題は
学校だけでなく家族、
地域でも取り組むべき!

子どもたちが安心して
通学できる環境を
目指してほしい

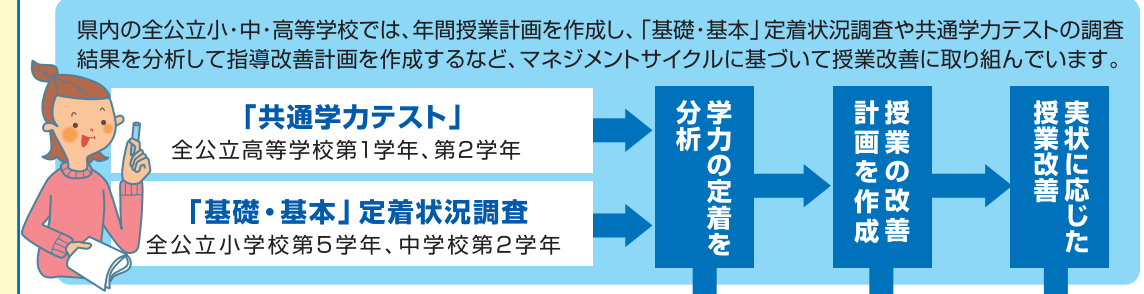
ますます進む！教育改革

子どもたちの生きる力を育てるため、知・徳・体の基礎・基本の徹底と、学校経営改革を進める取組みが、今年度も着実に進んでいます。



知 確かな学力を身につけるために

学力がついているかを調査し、結果を踏まえて授業の改善計画を立てるとともに、少人数指導を行うなど、一人ひとりに基礎・基本が定着する取組みを行っています。



小・中学校における学力定着・向上の取組みを紹介します。

「基礎・基本」定着状況調査結果から分かったこと

- 基礎的・基本的な学習内容は、おおむね定着しています。
- 「将来の夢や目標をもっている」児童生徒、「学校へ行くのは楽しい」という児童生徒が増えてきました。

調査結果を分析し、改善計画を作成

全ての公立小・中学校で改善計画を作成しています。

【北広島市立豊平中学校 平成16年度国語の改善計画例】

調査結果の分析	今後の取組みの重点・配慮事項
●文章を読んで理解する力が不足しており、個人差も大きい	●教科書の音読を繰り返すとともに、5分間テストで文章問題を行う
●読み取った内容を自分の言葉で表現する力が不足している	●単元ごとに文章の要点をつかむ指導を工夫する
●漢字の書き取りに個人差がある	●自分の考えや意見を短文に書かせる指導をする
	●個人目標をもたせた漢字の書き取りと漢字テストをする
	【指標】定期テストで「読む領域」の正答率7割をめざす

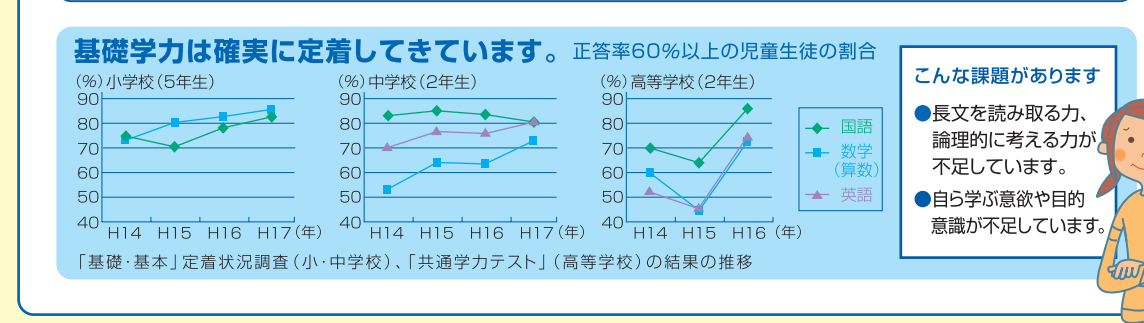
学校では、児童生徒の解答状況や誤答の傾向を分析するなど、より詳細な分析をして、今後の指導の重点や取組みのスケジュールを決め、取り組んでいます。

計画に基づく授業改善の取組み

【三原市立須波小学校 算数の取組み例】
児童が自分に合ったコースが選べるように、学習内容に応じてさまざまな習熟度別学習のタイプを準備し、授業改善を進めています。

1 補充・基礎定着タイプ	2 達成度指導タイプ	3 課題選択タイプ
単元の終わりにコースに分かれて学習し、学習内容を定着させます	単元の途中からコースに分かれ学習し、一人ひとりの力を伸ばします	児童が自分で課題を選んで学習を進め、基礎的学習内容を定着させます

成果 児童一人ひとりに合った学習を工夫・準備することで、学習成績の向上だけでなく、学習意欲が高まり、難しい問題でもあきらめず解こうとする児童が増えました。



徳 豊かな心を育むために

子どもたちが夢や希望を持ち、自らの生き方を考えながら成長することができるよう、道徳教育や生徒指導の充実、体験活動の推進に力を入れています。

道徳教育

～心に響く授業で子どもたちの心の元気を育てます～
道徳教育実践研究指定校の取組みを中心として、道徳教育のネットワークが全県へ広がってきています。

道徳教育実践研究指定校の取組み (小学校16校、中学校14校)

- チームティーチングによる心に響く「道徳の時間」の授業づくり
二人の教師が多面的に児童生徒とかわり、「道徳の時間」のねらいを効果的に達成する工夫を行っています。
- その他、保護者や地域の方にも授業に参加していただき、思いや生き方を語ってもらうなど、家庭や地域と連携した道徳教育を進めています。

道徳教育実践研究指定校の成果を全県に普及させるために開催されたフォーラムに、教育関係者や保護者など1,025人が参加。研究報告やおすすめ道徳授業などを伝えるポスターセッション、模擬授業などが行われ、熱心にメモをとる参加者の姿が見られました。

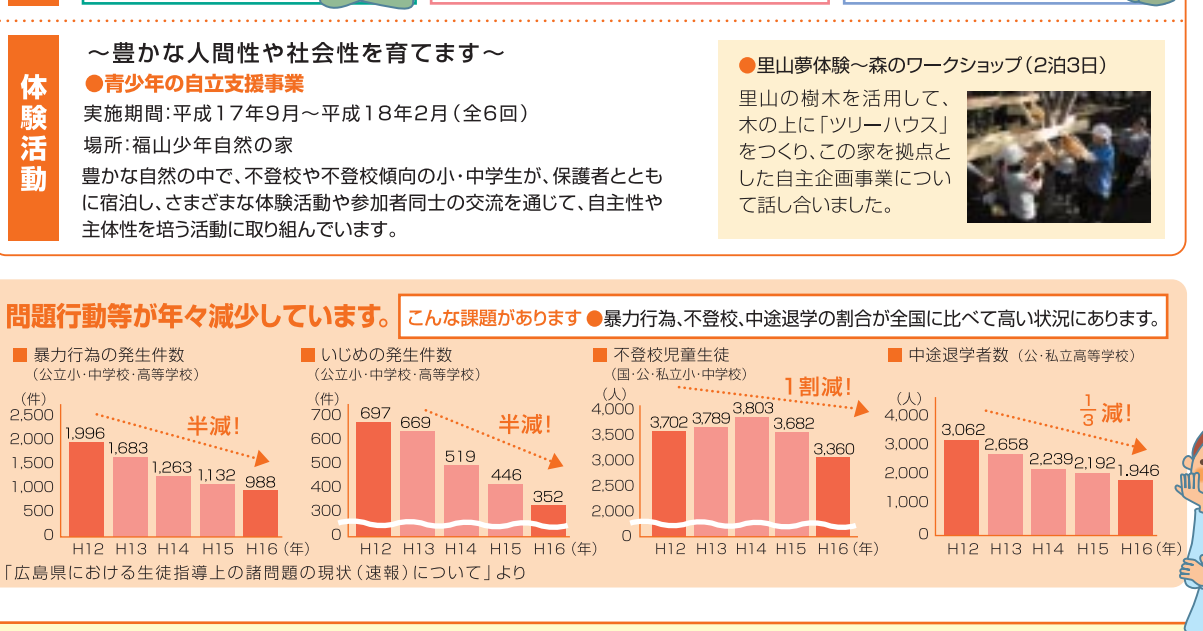
保護者の感想 道徳は生きる力を育むことだと改めて感じました。家庭でももっと親子で関わり合って豊かな心を身につけたいです。

生徒指導

～安心して学び、悩みごとを気軽に相談できる学校をめざして～
子どもたちのちょっとしたサインを見逃さないこと。課題が明らかになったらさらに細かく丁寧に対応することが早期解決の糸口です。

不登校対策実践指定校	心の悩みへの対応	関係機関との連携
小学校(30校) 中学校(30校) 教員を配置して、不登校や未然防止と学校復帰を図っています。	●スクールカウンセラー 中学校(136校) 高等学校(5校) 「心の専門家」によるカウンセリングなどの支援を行っています。	●広島県不登校フォーラム 不登校児童生徒への支援に関わる相談機関関係者や教員などの広域連絡協議会を、不登校支援の研究協議やネットワーク作りを行っています。
●学習の基礎基本の徹底 ●道徳のチーム・ティーチング ●家庭との連携 ●小・中学校の連携 ●関係機関との連携 ●保健室登校や別室登校などによる段階的な教室復帰の支援	●子どもと親の相談員 小学校(30校) 経験豊富な相談員が子どもと親の心をサポートします。	●また、県内4市で行っている不登校児童生徒への支援(訪問型支援や体験活動)の情報交換を行うほか、県内に設置されている適応指導教室の実践交流も行っています。

●山里夢体験～森のワークショップ(2泊3日)
山里の樹木を活用して、木の上に「ツリーハウス」をつくり、この家を拠点とした自主企画事業について話し合いました。



体 健やかな体を育てるために

子どもたちの体力や運動能力を培い、「運動が好きになる」「運動が得意になる」ことができる取組みを行っています。

小学校では

体力づくり推進リーダー
パワーアップ研修会を開催

休憩時間などに楽しく体を動かすことができるおすすめの外遊びを各学校が持ち寄り、研修会で検討・実践。県内4会場、370人で実施しました。

この検討した結果は冊子にして各学校に配布しました

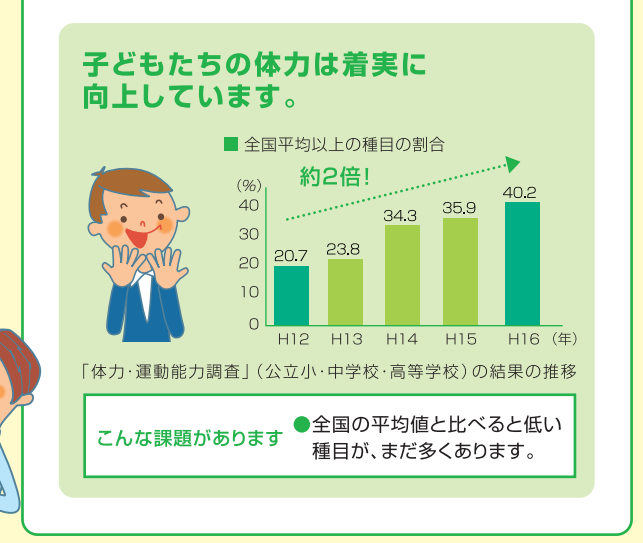
小学校全体でこの研修に取り組みだとして、受講した教員の資質の向上だけでなく、主任などの職務遂行能力が向上し、校内研修全体が活発になりました。

中学校でも

体力づくりトップランナー研修会を開催

各学校における体力向上の取組みや、学校全体で取り組むマネジメントサイクルの充実をめざして研修。県内2会場、約160人で実施しました。

研修風景(グループ協議)



学校経営改革 信頼される学校をめざして

子どもたちによりよい指導ができるよう、校内研修をはじめとした教職員の人材育成を学校全体で取り組んでいます。

10年経験者研修と校内研修

東広島市立高屋中学校の取組み

10年経験者研修は、在職期間が10年に達した教員に対して、個々の能力、適性などに応じて研修を実施し、その資質の向上を図ることを目的として行われるものです。(校内研修年間20日、校外研修年間20日)

高屋中学校では、教員の授業力向上や職能成長をめざした校内研修に取り組んでいます。たとえば、授業や教材研究の指導を、管理職、教務主任・研究主任などを中心に、学校全体で実施するほか、指導主事の継続的な指導も受けています。また、学校評価の取組みの一環として実施している「生徒による授業評価」の結果も研修に活用しています。

成果 学校全体でこの研修に取り組んだことで、受講した教員の資質の向上だけでなく、主任などの職務遂行能力が向上し、校内研修全体が活発になりました。

教員の人材育成を図る校内研修

県立福山誠之館高等学校の取組み

福山誠之館高等学校では、教員の人材育成を図る校内研修に取り組んでいます。まず、校内人材育成プログラムや人材育成が図れる校務運営体制を整え、教職経験に応じて、どの時期にどんな研修が必要かを明らかにしています。研修は、外部講師を招くだけでなく、研修を受けた教員が校内で自ら講師となり講座を開催するなど、計画的な校内研修を行っています。

研修内容	対象者
マネジメント研修セミナー 目標による管理、学校の危機管理などの研修	教職経験 5～20年
コーチング研修セミナー カウンセリング理論、こぼしの教育などの研修	//
ガイダンス研修セミナー 進路指導や生徒指導力をつける相談活動などの研修	教職経験 10年未満
他県教育事情研修セミナー 他県の教育現場の仕組みや実状についての研修	教職経験 初年～20年

※希望者はどの研修も受講可能

成果 学校外に出かけなくても校内でさまざまな研修を受けられるようになったこと、受講する教員はもちろん、講師を務める教頭や主任等に力がついたことで、学校全体が活性化しました。

さらに子どもたちに、論理的に考える力や夢や希望を達成しようとする意欲・態度を育てる取組みを進めています。

ことばの教育
パイロット校事業

「ことばの教育」パイロット校(31校)では、子どもたちに論理的な思考力やコミュニケーション能力を身に付けさせるため、「言語技術」の手法を取り入れた研究を行っています。

言語技術の指導では
「問答ゲーム」や「再話」「説明」「描写」などを繰り返し練習することによって、子どもたちが、自分の意見や考えを筋道を立てて述べたり、情報を整理して正確に相手に伝えたりできるようにすることをめざしています。

パイロット教員(※)は専門的な研修を受けています! →パイロット校ではこんな成果が表れ始めています!

理由をつけて発表や説明をします!
～神石高原立油木小学校の取組み～
油木小学校では、言語技術に取り組むことにより「論理的に考える力の育成」をめざしています。算数の時間では、どの時間に習ったことを根拠にして、どのような式になるかを考えさせ、また、「なぜそう考えるのか」という理由をつけて話すように指導しています。

なぜそう考えるのか理由をつけて話している

キャリア教育

キャリア教育は、子どもたちが将来、社会人・職業人として自立する力をつける教育です。

キャリア教育推進事業

県内5地域を指定し、小・中・高等学校が連携して、キャリア教育の視点に立った教科指導や体験活動などに係る学習プログラム(年間指導計画、教材など)の開発、家庭・地域・企業などとの連携体制づくりに取り組んでいます。

地域	キャリア教育の視点に立った体験活動(例)
大竹市	小学校では「伝統工芸和紙づくり」、中学校では「修学旅行(京都「わたしのしごと館」)での職場体験学習」
東広島市	「食・生命」をテーマに、小・中・高と連携した「大豆栽培・加工・調理・安全性について」
竹原市	小学校では「お店訪問」、中学校では「高校調べ」
福山市新市	高校では大学・専門学校などの講義の受講
庄原市西城	地域に愛着が持てるよう、小学校では「田植え体験」「かわし餅づくり」、高校では「地域の清掃ボランティア」

こんなことが行われました。

●キャリア教育フォーラム
キャリア教育を全国で進めるためのフォーラムを、9月3日アステールプラザで開催し、約1,200人が参加しました。

●キャリア・スタート・ウィーク
4地域(北広島町、竹原市、府中市、庄原市)で計21校、約1,200人の中学生が5日間の職場体験を行いました。

未来を拓く
パイオニアスピリット
養成セミナー

夢や目標を持ち、それに向かって挑戦する気概と志を持った人材の育成
県内の中学生・高校生50名を対象に、夏休みから10月まで全4回(2泊3日を含む)の6日間)のセミナーを行いました。

セミナーの構成は

- ① 出会いの場
藤田県知事、大島玄恵さん(能楽シテ方喜多流)、松本壽士さん(漫画家)などから、生き方を考えるお話を聞き、意見交換を行いました。
- ② 基礎力・実践力を磨く場
コミュニケーションの力、プレゼンテーションの力などの基礎的な技術を習得しました。
- ③ 発表の場(私の宣言)
セミナーで学んだことを全員の前で発表しました。

受講生アンケート結果

- 14.3% 夢や目標を定めることができた
- 85.7% チャレンジすることの大切さを知ることができた
- 2.0% コミュニケーションやプレゼンテーションなどの大切さが分かった
- 40.8% 57.2%

今後もさらに進めます!

人材育成のトータルシステムの構築

本県が求める教職員を育成するため、能力開発や給与処遇、人材活用、人材育成の観点から総合的に推進する「人材育成のトータルシステム」の構築をめざします。

人材育成の基本方針

求められる教職員像

能力開発 研修制度の改善・充実について検討

人事評価 エキスパート教員の活用などについて検討

給与処遇 勤務実績の給与への反映について検討

人材活用

教職員に配布しているニュースレターをホームページに掲載しています。県教育委員会のHP ▶ NEWSFILE ▶ ニュースレター～人材育成

おでかけガイド

詳細については、各施設にご確認ください。

広島県立美術館

☎082(221)6246
広島市中区上櫛町2-22

偉大なる「エルミタージュ美術館」展 —— 魅惑の秘蔵コレクション ——

■期間／平成18年1月27日(金)～4月2日(日)
■内容／ロシア・エルミタージュ美術館所蔵作品から、ヴァン・ダイクの傑作をはじめフランドル絵画の名作51点、マイセンやセーヴル製の陶磁器など17～19世紀ヨーロッパ工芸の名品67点を一挙紹介。広島県立美術館だけの開催。お見逃しなく!

■入館料／小・中400円(200円)、高・大600円(400円)、一般1,200円(900円)
()内前売・団体料金 ※紙面の下に割引券があります。切り取ってお使いください。



◀「家族の肖像」
ヴァン・ダイク・アンソニー



フランス、セーヴル製陶所「蓋付きの壺」▶

©The State Hermitage Museum, St.Petersburg,2006

第52回日本伝統工芸展

■期間／平成18年1月25日(水)～2月5日(日)
■内容／人間国宝から新進気鋭の若手まで日本を代表する工芸作家の作品約200点を紹介。
■会場／天満屋 広島八丁堀店
日本工芸会奨励賞 漆芸
切金箱「瀧の朝」金城一國斎 ▶



広島県立歴史博物館

☎084(931)2513
福山市西町2-4-1

部門展「瀬戸内の塩業」

■期間／平成18年2月21日(火)～4月9日(日)
■内容／原始・古代から近代・現代までの塩づくりに関する歴史・民俗資料を紹介。



「松塩塩田釜屋の模型」

広島県立歴史民俗資料館

☎0824(66)2881
三次市小田幸町122

ふどきの丘体験教室…歴史・文化に関する体験学習・フィールドワーク

■日時／平成18年2月18日(土)10時～12時
■内容／野鳥かんさつ

歴史トーク第3回・第4回

■日時／平成18年1月14日(土)、2月11日(土) 各日とも14時～16時

頼山陽史跡資料館

☎082(542)7022
広島市中区袋町5-15

中国新聞連載小説「頼山陽」挿絵原画展[京都時代]

■期間／平成18年2月5日(日)まで
■内容／頼山陽史跡資料館開館10周年を記念し、中国新聞で現在連載中の小説「頼山陽」の挿絵の原画を展示。



「山陽と梨影」

頼山陽史跡資料館開館10周年記念茶会

■日時／平成18年2月26日(日)10時～15時 ■料金／お茶券500円(入館料込み) ■内容／頼山陽史跡資料館開館10周年を記念し、茶道7流派の協力を得て開催。

縮景園

☎082(221)3620
広島市中区上櫛町2-11

大福茶会

■日時／平成18年1月15日(日)
■内容／上田宗箇流直心会:若水を汲んでお茶を点て、この年の無病息災を祈る茶会。清風館に本席を設け大福茶(薄茶に梅干・黒豆・山椒の実を入れたもの)で接待。

梅見茶会

■日時／平成18年2月12日(日)
■内容／上田宗箇流直心会:春を告げる梅の花にあわせて、清風館に本席を、紅白の梅花が香る梅林に甘酒席を設けての茶会。

広島県立福山少年自然の家

☎084(935)7166
福山市金江町豪江619-2

冬の子くらぶ

■日時／平成18年1月21日(土)～22日(日)1泊2日
■定員／36人(先着順) ■対象／小学3～6年生・中学生
■受付開始／12月21日～ ■参加費／3,200円
■内容／冬だからこそ感じられる“あたたかさ”を見つけ、自然への思いやりや好奇心を育む環境教育プログラム。落ち葉のベッドづくり・あたたかい飲み物パーティーなど。

広島県立図書館

広島市中区千田町3丁目7-47
広島県情報プラザ内
☎082(241)2299

●図書館活用講座 「利用者用コンピュータ目録操作方法」

日時 平成18年1月15日(日)13時30分～14時30分
定員 7人 受付開始 講座日の2週間前から来館(カウンター2へ)、または電話で受付。
内容 蔵書を効率よく探す利用者用コンピュータの操作方法を学ぶ講座。

●図書館資料展示「わが社の歴史」

期間 平成18年1月29日(日)まで
内容 日本経済の潮流を概観できる県内外各業界の社史を展示。

●広島県立図書館友の会 第3回ブックサロン「美術散歩」

日時 平成18年1月21日(日)13時30分～15時
定員 40人 受付 広島県立図書館友の会事務局(広島県立図書館事業課内)へ電話082(241)4995またはFAX082(241)9799で受付 参加費 500円
内容 スピーカー:大井健地さん(広島市立大学教授)

●「おはなし会」

日時 12月24日(土)、平成18年1月14日(土)、28日(土)、2月18日(土)各11時～11時40分

●「書庫見学ツアー」

日時 12月25日(日)、平成18年1月22日(日)各15時～15時40分 定員 10人
内容 普段は見ることのない地下書庫を司書が案内。

●「子どものための書庫見学ツアー」

日時 12月24日(土)13時～14時
対象 小学生10人(12月10日(土)より受付の先着順)
内容 普段は入ることのない地下書庫を、中・高校生ボランティア「来(ら)いびらり・フレンズ」が案内。

特別整理(蔵書の点検作業等)により休館します。

休館期間 平成18年2月21日(火)～3月3日(金)
※2月20日(月)は定例の休館日です。

◆お知らせ◆

スクールカウンセラー募集

勤務日及び時間(原則)	1校当たり年間35週、原則1週当たり1回8時間	派遣先	中学校及び高等学校
資格(報酬)	臨床心理士、大学教授等(1時間当たり5,060円) 大学院修士課程修了後 児童生徒対象の相談業務等1年以上の経験者、大学卒業後 児童生徒対象の相談業務等5年以上の経験者など(1時間当たり3,500円)	お問い合わせ	広島県教育委員会指導第三課 ☎082(513)5043

子育てについて考えてみませんか?

全国家庭教育フォーラムin広島

～持ちようや子育ての知恵 土産は笑顔とパワーじゃけん!～

参加無料

子育てに関する情報満載。一日楽しめるフォーラムにぜひ、ご家族でお出かけください!

日時 平成18年1月14日(土) 10時(開場9時45分)～16時
場所 広島国際会議場ほか(広島市中区中島町1-5平和記念公園内) ※託児・子育て相談コーナーあり

お問い合わせ 生涯学習課 ☎082(513)5014 ホームページアドレス <http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/f-katei/>

●講演会/見城美枝子さん(青森大学教授) テーマ「教育はパートナーシップ～家庭・学校・地域の連携～」

●ミニコンサート/沖田孝司さん(ヴァイオリン演奏)と中村由利江さん(紙芝居)の共演

●アトラクション/「阿賀中ソーラン隊&YAMATOくれびと」によるステージ発表

●シンポジウム/河合隼雄さん(文化庁長官)と地域活動者の意見交換
テーマ「持ちようや子育ての知恵 土産は笑顔とパワーじゃけん!」

●「食べる!遊ぶ!読む!」キャンペーン他
/子どもの基本的な生活習慣の育成や、子どもの安全・安心な地域づくりなどをテーマにしたコーナーを設置
●映画「森の学校」上映会/10時30分～12時20分(広島平和記念資料館東館地下一階メモリアルホール)



見城美枝子さん 河合隼雄さん



お便りから

子どもたちに伝えたい
心に響くちょっといいはなし

「母の宝物」(男性・40代・会社員)(一部要約)

わけあって住み慣れた家を処分することになり、荷物の整理をしているとボロボロになった菓子箱が出てきた。中に入っていたのは、写真や小学校1年のときに書いた作文など、本当に懐かしいものばかり。成績表もあった。小学校から高校まですべてを母がとっていたことに驚いた。

先日、初めて我が子を小学校にやった。この子は、どんな人間に成長するのだろうか。できれば立派な人間に成長してほしい。あれやこれやと期待も膨らんだ。そのとき、母の菓子箱のことを思い出した。母が、あの作文や成績表を捨てられなかったわけが分かった気がした。我が子の将来に対する期待。母は、我が子への希望を捨てることができなかったのだ。今にして思う。私は、母の期待に応えただろうか。母に胸を張れる生き方をしているのだろうか。物置の片隅にあったボロボロの菓子箱が、今は私の宝物である。

教育委員会HP
「豊かな心を育てる道徳コーナー」では、県民の皆様から「心に響くちょっといいはなし」を募集しています。

なるほど教育!

おしえて広場

皆さんからの質問や素朴な疑問に、
広島県教育委員会がお答えします。 [Vol.2]

<素朴な疑問・質問 大募集!>

本コーナーで聞いてみたい疑問・質問を、どんどん下記宛先へお寄せください。採用された方には、粗品を進呈します。

■応募方法 はがきに「あなたが聞いてみたいこと」、名前、住所、「くりっぶ」へのご意見・ご感想を書いて郵送してください。
※個人情報保護の観点から、お名前を公開していません。

Q 学校のアスベスト対策はどうなっているの?

A 全ての学校を調査し、飛散のおそれがある場合は、被害が及ばないように対策をとっています。

県教育委員会が所管する県立学校の施設については、今年8月に図面や目視確認による一次診断を全ての学校で一斉に実施しました。

その中で、劣化状況が特に著しい箇所は使用禁止とし、建築の専門職員を派遣。再確認をした上で、アスベストの含有や劣化、飛散が懸念される箇所について、さらに専門的な機関が二次診断を行い、結果

を踏まえて工事を行うなど適切に対処しています。

なお、県立学校で使う物品についても調査を実施し、アスベストが飛散するおそれがあるものは使用禁止にし、必要に応じて代替品を購入するなどの対応をしています。

また、市町立の小・中学校についても、同様に健康被害が及ばないように対策がとられています。

ご活用ください!

「障害のある子どもと保護者のための教育相談ガイドブック」



こちらからダウンロードできます
<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/O7challenge/guidebook/soudan.htm>

偉大なる「エルミタージュ美術館」展

割引引換券

■小中生……400円を 300円
■高大生……600円を 500円
■一般……1,200円を 1,100円
※1枚につきお一人様1回限り

広島県立美術館 1/27[火]▶4/2[日]

ご意見などは、広島県政もみじファクスや郵送でも受け付けています。

広島県教育委員会教育長ホームページ <http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/>

県政もみじファクス FAX 082(224)1122 ボックス番号 80034

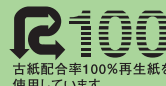
郵送 〒730-8514 広島市中区基町9-42

Eメール kyoukouhou@pref.hiroshima.jp

(「くりっぶ」または「おしえて広場」と明記してください。)

<編集・発行>
広島県教育委員会総務課教育政策室
〒730-8514 広島市中区基町9番42号
☎082(513)4934

●点字版の「くりっぶ」を発行していますので、希望される方はご連絡ください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。